

第18回 交流会

言語教師としての自身の経験を振り返る

— 「専門性の三位一体モデル」を使ったWS —

みなさんは言語教師として日々の実践において、どのように自身が目指す言語教育を実現しようとしていますか。

第18回交流会では、言語教師としての教授経験を振り返ることをとおし、自身の理念を考えるワークショップを行います。振り返りのツールとしての「専門性の三位一体モデル」（参考資料参照）を使用します。自らの教授経験を振り返ることをとおし、言語教師としての自身をより深く理解すること、さらに、自身の理念をもとにどのようにすれば自分がめざす言語教育が具現化できるかについて対話する場となることをめざします。

当日はできるだけ語り合いの時間を多く設けることにより、お互いの言語教師としての経験を共有できる場にしたいと思っています。みなさんのご参加をお待ちしております。

【参考資料】

館岡洋子編（2021）『日本語教師の専門性を考える』ココ出版

館岡洋子（2019）「日本語教師の専門性」を考える—「専門性の三位一体モデル」の提案と活用— 『早稲田日本語教育学』26, pp.167-177.

日時・会場

2021年11月20日（土）
15：30～17：30

Zoom開催

※ログイン方法は申し込み受付後に通知します。

◆申し込み方法◆

googleフォームで
受け付けます。



【定員】 30名

【締切】 2021年11月15日(月)

先着順／定員に達し次第締切

参加資格

- ・参加費無料／会員・非会員は問いません。
- ・本企画は第78回例会「日本語教師の専門性を考える」（11月13日開催）と連動しています（参加無料、定員なし）。例会では、WSにつながる説明がありますので、参加ご希望の方は、ぜひ例会へのご参加もお願いします。
- ・WSではpadlletを使用しますので、パソコン等でのご参加、またカメラをオンにした状態（顔出し）での参加をお願いいたします。ワークショップの進行上、途中からの参加はご遠慮ください。

お問い合わせ

言語文化教育研究学会 交流委員会

MAIL interact@alce.jp